

# 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 「地域協働とフィールドワーク」シラバス (SFC 政策研究支援機構寄附講座)

## 1. 主題と目標/授業の手法など

本授業は、SFC 政策研究支援機構からの寄附講座として開講するものである。SFC 政策研究支援機構は、慶應義塾の卒業生有志の基金によって、学生主導によるフィールドワーク研究を支援するために 1999 年に設立された組織である。毎年、複数のフィールドワーク研究助成が行われ、SFC にふさわしい、問題発見・解決型の学びを支える、最も重要な制度の一つとなっている。

本寄附講座は、SFC 政策研究支援機構の制度理解を深め、メンバーの智を伝達しつつ、塾員、教職員、学生が一体となって実践的なフィールドワークによる研究促進を支援することを目的として 2007 年度に創設された。

昨今、地域再生は、政府の重要施策の一つである。特に、地域の多様な主体のつながり、協働によって問題を解決するための手法に注目が集まっている。中でも、地域大学連携においては、市民と学生の両者に気づきや活力を与え、同時に地域で活躍する人材を育成する可能性もあり、大学への期待はますます高まるばかりである。SFC においても、様々な地域大学連携が行われているが、その全貌は明らかになっていない。そこで、本授業では、SFC 政策研究支援機構で実績のあるプロジェクトを始め、SFC の大学生が活躍している大学地域連携事例を受講者全員で集める。そして、事例を分析することにより、地域大学連携における課題や具体的方策を学ぶことを目的とする。SFC 政策研究支援機構のフィールドワーク助成の応募を受けているまたは検討している学生、実際に地域でのプロジェクト活動を計画または推進している学生、地域大学連携に関心のある学生などを対象とする。

最終成果として、SFC 生による大学地域連携の事例研究を発表し、レポートを作成してもらうことを検討している。

## 2. 授業担当者

- ・ 総合政策学部准教授 飯盛義徳
- ・ SFC 政策研究支援機構メンバー有志
- ・ 非常勤講師 西田みづ恵

## 3. 教材・参考文献

- ・ 参考書：國領二郎、飯盛義徳編『「元気村」はこう創る』日本経済新聞出版社、2007 年。
- ・ その他、ケース教材など別途配布。

#### 4. 授業計画、開講時間

●秋学期 火曜日 2限 (11:10~12:40)

・第1回 (9月24日) ガイダンス

本授業の目的、内容、成績評価などを説明する。また、SFC 政策研究支援機構のメンバー、制度の紹介も行う。

・第2回 (10月1日) 大学から見た大学地域連携 (講義、ディスカッション)

昨今注目されている大学地域連携について、大学の目線から、背景、意義、可能性や課題について、説明を行う。

・第3回 (10月8日) 政府から見た大学地域連携の可能性 (講演、ディスカッション)

大学地域連携について、政府の目線から、背景、意義、可能性や課題について、事例を紹介しながら説明を行う。

・第4回 (10月15日) 大学への期待1 (講演、ディスカッション)

大学地域連携を期待する企業や行政の方にご講演いただき、大学や大学生が期待されていることを学ぶ。

・第5回 (10月22日) 大学への期待2 (講演、ディスカッション)

大学地域連携を期待する企業や行政の方にご講演いただき、大学や大学生が期待されていることを学ぶ。

・第6回 (10月29日) 先輩たちの活躍 (2013年度 SFC 政策研究支援機構中間発表)

2013年度 SFC 政策研究支援機構から助成をうけてフィールドワーク研究チームの中間発表を実施する。進行中の活動内容を聞くことにより、地域大学連携プロセスを学ぶ。

・第7回 (11月5日) 大学地域連携の事例発表1 (発表、ディスカッション)

SFC 生が地域住民とまちづくりを推進する事例について、受講者全員で情報を集め、発表する。また、共通点、相違点、課題などを議論する。

・第8回 (11月12日) 大学地域連携の事例発表2 (発表、ディスカッション)

SFC 生が地域住民とまちづくりを推進する事例について、受講者全員で情報を集め、発表する。また、共通点、相違点、課題などを議論する。

・第9回 (11月26日) 大学地域連携の事例研究1 (グループワーク)

第8回と第9回で収集した SFC 内の地域大学連携事例を、グループで分析し、発表する。

・第10回 (12月3日) 大学地域連携の事例研究2 (グループワーク)

第8回と第9回で収集した SFC 内の地域大学連携事例を、グループで分析し、発表する。

・第11回 (12月10日) 大学地域連携の事例研究3 (グループワーク)

第8回と第9回で収集した SFC 内の地域大学連携事例を、グループで分析し、発表する。

・第12回(12月17日)大学地域連携の事例研究発表1(発表、ディスカッション)

SFC内の地域大学連携事例の分析結果を発表してもらう。

・第13回(12月24日)大学地域連携の事例研究発表2(発表、ディスカッション)

SFC内の地域大学連携事例の分析結果を発表してもらう。

・第14回(1月7日)まとめ1

今までの講演、議論などを振り返りながら、大学地域連携プロジェクトの可能性について考察する。

・第15回(1月14日)まとめ2

今までの講演、議論などを振り返りながら、履修者一人一人が何を学んだのかを共有する。そして、学んだことを、今後どのように活かしていくのか発表する。

## 5. 提出課題・試験・成績評価の方法など

授業では、SFC-SFSを活用し、適宜、簡単なレポートや感想の提出を義務づける。また、グループワークやディスカッションを中心とした授業が多いため、積極的な発言が求められる。試験は行わず、最終成果としてSFC生による大学地域連携の事例研究レポートを作成、提出してもらう。

成績評価は、出席が30%、クラスへの貢献(発言、授業レポートの内容、計画書の発表など)が40%、最終成果レポートの内容が30%の割合で総合的に判断する。

## 6. 履修上の注意・その他

本授業は、議論やレポートなどかなりのワークロードを必要とする。そのため授業内容に強い興味、関心、情熱がある方の参加を希望する。なお、ゲストのご都合などで、授業の内容などが一部変更される可能性があることを理解いただきたい。

## 7. 前提となる知識(科目名等)

まちづくり論やソーシャルイノベーション系の科目を受講しているなど、地域活性化に関する基礎的な知識があることを前提に授業を行う。

## 8. 履修者数制限(予定人数および制限方法)

30名。

初回授業で、出席カードを配布し、選抜のための課題を発表する。

当日(9/24)の20時までに、SFC-SFSに提出された課題の中から選抜を行う。

## 9. 同一科目

なし。

## 10. 授業 URL

- ・ 飯盛義徳研究室 <<http://isagai.sfc.keio.ac.jp/>>
- ・ SFC 政策研究支援機構 <<http://amirai.sfc.keio.ac.jp/>>

## 11. 注意事項・その他

- ・ ゲストスピーカーのご都合により、授業内容、日程が変更されることがある。最新版のスケジュールは、SFC-SFS を確認すること。
- ・ SFC 政策研究支援機構による研究助成を受けた学生グループ、またこの制度に関心のあ  
る学生には履修を強く促す。

## 12. 学生が準備するソフト・機材

パワーポイントなどのプレゼンテーションソフト

## 13. 授業に関する連絡先

[isagai@sfc.keio.ac.jp](mailto:isagai@sfc.keio.ac.jp)

以上